

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2021-1016	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:「脳と心の健康調査」参加者 約12,000人 試料:なし 情報:基本情報、MRI画像、RNF213遺伝子p.R4810K多型の有無		
主たる研究機関	東北大学病院			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構		
研究題目	RNF213遺伝子p.R4810K多型保持健常者における潜在的画像所見のAI 解析			研究期間	2021年12月～2024年3月		
実施責任者	富永 悌二	所属	東北大学病院		職位	教授	
研究目的と意義	もやもや病における早期の潜在的な形態変化を検出する。						
研究計画概要	MRI の情報から両側内頸動脈終末部の形状を獲得し、人間の眼には捉えきれない潜在的な形態学的特徴を機械学習の手法を用いて抽出する。						
期待される成果	もやもや病感受性遺伝子多型が、どのような機序でもやもや病の発症に関与しているか、という問いに挑むものである。						
これまでの倫理 審査等の経過	2021年11月 東北大学医学系研究科倫理委員会承認						
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針のほか、別途締結する研究契約を遵守する。 利用する試料・情報は、ToMMoスーパーコンピュータ内での使用に限定する。 本研究は、症例として医療機関で患者から取得した既存試料・情報を利用するが、拒否機会の保障等別途必要な手続きを行っている。						
その他特記事項	科学研究費助成事業						
※公開日	令和3年12月7日						